



日立一高ラグビー部OB会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>
(フェイスブックグループ「日立一高ラグビー部」も開設)

[令和3年度終盤～令和4年度前半を振り返って]

○ 全国大会県予選は、3年連続決勝戦に進出、...しかし茗溪学園の壁は破れず

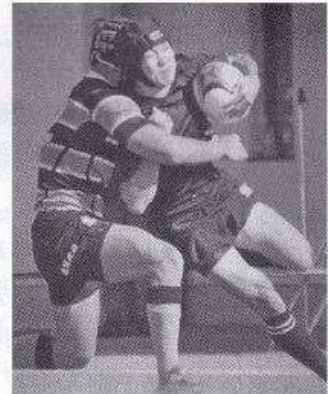
新春恒例の「蹴り初め」は2年連続で中止 ↘↘↘

新人戦は、決勝戦に進出するも、コロナ感染拡大による棄権(不戦敗)により準優勝

4月1日、OB「高島真輔」先生がラグビー部顧問として日立一高に着任！！

令和4年度の夏合宿は、3年ぶりに“菅平”で実施！！

令和3年度全国大会茨城県予選



11月 5日 (金)	【準々決勝】 vs. 勝田高校	41 - 0 (前半 26 - 0 後半 15 - 0)
11月13日 (土)	【準決勝】 vs. つくば秀英	17 - 17 (前半 0 - 5 後半 17 - 12)
11月19日 (金)	【決勝】 vs. 茗溪学園	0 - 102 (前半 0 - 57 後半 0 - 45)

第101回全国高校ラグビーフットボール大会茨城県予選も、前年度に続いて学校関係者及び選手の保護者以外は無観客で開催されました。

準々決勝は勝田高校との対戦。勝田高校は2回戦で太田一高を45-28と破っているほか、5月の関東大会県予選で14-21と敗れた合同B(水戸一、勝田、水城)の主力メンバーも残っていると思われ、難敵と予想されましたが、1トライも許さない完封試合で秋シーズンの幸先の良いスタートを切ることができました。

準決勝は、つくば秀英との対戦。この試合、受験や怪我でレギュラーメンバー4人が欠場しており、選手層の薄い本校としてある程度の苦戦は予想されましたが、17-17(前半0-5、後半17-12)と引き分け。決勝進出は、両チームの主将による抽選に委ねられました。抽選ではジャンケンに勝った二重作(ふたえさく)主将が右の封筒を選択し、見事「決勝進出」を引き当てました。

3年連続の決勝進出、そして茗溪学園との対戦。部員たちは全力を尽くして果敢に攻め、勇気をもってタックルしましたが、総合力で勝る茗溪学園には及ばず、0-102(前半0-57、後半0-45)で敗れました。

ここに至るまでのプロセス...ラグビーとの出会い、仲間たちとの日々の練習、コロナ禍との闘い、3年生全員で臨んだ県予選、続出する怪我人、準決勝での引き分け抽選、全力を出し切った達成感・出し切れなかった悔しさ...ひとつひとつの体験が、将来に向けて部員たちの大切な宝となったことでしょう。

新人戦 ※無観客開催(学校関係者及び選手家族のみ観戦可)

1月16日 (日)	【準々決勝】 vs. 水戸農高	29 - 17 (前半 12 - 12 後半 17 - 5)
1月21日 (金)	【準決勝】 vs. 勝田工高	※相手チーム棄権により不戦勝
1月29日 (土)	【決勝】 vs. 茗溪学園	※日立一高の棄権により不戦敗

令和2年度茨城県高校ラグビー新人大会の第1戦は準々決勝。1回戦で常総学院を62-7で破り、勢いに乗っている水戸農高との対戦。前半、日立一高はキックオフ直後にキックチャージからトライされるなど0-12とリードを許す苦しいスタート。その後2トライを返して12-12で前半終了。怪我人もあって14人で試合を継続する苦しい展開となりましたが、後半は3トライを奪って相手を1トライに抑え、勝ち切ることができました。

準決勝は、勝田工高と対戦する予定でしたが、相手チームの棄権により不戦勝。もう片方のブロックの茗溪学園 vs. 清真学園も、清真学園の棄権により茗溪学園の不戦勝

決勝戦は、新型コロナウイルスの感染拡大や怪我人等の状況を勘案し、監督と部員が協議した結果、出場を辞退することになり、その結果、茗溪学園が不戦勝により優勝、日立一高が準優勝となりました。

新チームとなってから初の公式戦でしたが、1・2年生が14人という苦しいチーム事情の上、怪我人が出たため実質13人で試合に臨んだとのことですので、コロナ禍の現状を鑑みると、やむを得ない判断だったと思われます。

関東新人大会

※2年連続中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

関東大会県予選

※無観客開催（学校関係者及び選手家族のみ観戦可）

5月 1日 (日) 【準々決勝】	vs. 合同A	38-12 (前半 26-7 後半 12-5)
※勝田・水戸一・水城・太田一・磯原郷英		
5月 8日 (日) 【準決勝】	vs. 清真学園	0-33 (前半 0-5 後半 0-28)
5月 15日 (日) 【3位決定戦】	vs. 勝田工高	12-19 (前半 12-5 後半 0-14)

準々決は vs. 合同A。開始早々に先制トライを奪い、7-0と幸先よくスタートしましたが、その直後に自陣ゴール前のラインアウトからモールを押し込まれトライ。その後BKを中心に3トライを奪い26-7で前半終了。後半も10分過ぎにゴール前ラインアウトを押し込まれ26-12、その後は展開ラグビーで2本のトライを追加し38-12で勝ち切りました。（合同チームとはいえ、大きくて重い相手FWに苦戦を強いられました。）

準決勝の vs. 清真学園は久々の対戦、前半はずっと自陣でディフェンスばかり、スクラムも圧力をかけられ苦しい展開。粘りに粘った末、ハーフタイムを目前に、自陣ゴール前のマイボールスクラムからこぼれ球を相手SHに拾われ0-5。後半も開始早々にトライを奪われ、その後も3トライを追加され、終わってみれば0-33。清真学園はここ数年低迷していましたが、昨年秋頃から復活の兆しを見せ始め、新人戦では準決勝を棄権したものの、今大会での充実ぶりが目につきました。

関東大会出場を賭けた3位決定戦 vs. 勝田工高は、アタックでミスが多く、キックも当たりが悪く、同じパターン（ペナルティからのゴール前ラインアウトモールで失点）で得点され、全てが練習どおりにいかないという状況でした。チーム力は上がっているはずなのに、実力が出し切れず結果が残せない、悔しい結果となりました。



全国7人制大会県予選

※無観客開催（学校関係者及び選手家族のみ観戦可）

令和4年6月18日（土）19日（日）堀原運動公園で全国高校ラグビー7人制大会の茨城県予選が行われ、日立一高は、今大会で3位に入賞した牛久高校に15-24で敗れ、4大会連続の3位以上入賞は叶いませんでした。

30℃を超える猛暑に体が順応していなかったのか、熱中症の症状を訴える部員もあり、実力が十分に発揮できなかったものと思われます。日立一高を破った牛久高校は3位入賞し、今大会の台風の目となりました。

【大会結果】 1日目 1回戦 vs. つくば秀英	17-5	2回戦 vs. 牛久高校	15-24
(参考) 準決勝 清真学園	12-10 牛久高校	3位決定戦 牛久高校	7-0 勝田工高

○ 令和4年4月、OBの高島真輔先生がラグビー部顧問として着任！！

「新任の御挨拶」 高島 真輔 平成21年度・第62回卒

日立一高ラグビー部OBの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、令和4年4月1日付けの定期人事異動で、茨城県立磯原郷英高等学校より赴任いたしました。

数年前のOB会報にて、「いつかは母校に戻り、ラグビーに関わりたい」という夢を書かせていただきましたが、その夢がこんなにも早く実現するとは思っていませんでした。高校でラグビーに出会ってからもう15年も経ち、人生の半分がラグビーと関わった年数になりました。しかし、ラグビーの新しい発見が未だに見つかり続けており、日々ラグビーの楽しさに触れることのできるこの環境には感謝の言葉しかありません。

これからは日立一高ラグビー部顧問・OBとして、生徒たちにラグビーの魅力や厳しさを伝えるとともに、生徒たちが人として大きく成長できるように手助けしていきたいと思います。

自分自身も常に学ぶ気持ちを忘れることなく、今後OBの皆様、保護者の皆様など多くの方々に、ご指導・ご支援をいただきながら、ラグビー部の更なる発展のために、精一杯努力する所存です。

最後になりましたが、OBの皆様、またお世話になります。よろしくお願いいたします。



○ 令和4年度の夏合宿は3年ぶりに“菅平”で実施

コロナ禍のため、一昨年は磐梯熱海で実施し、昨年は宮城蔵王で計画しながら中止となった夏合宿を、今年は3年ぶりに長野県菅平高原で、8月2日(火)～6日(土)の4泊5日で実施しました。

日立一高は選手16人(都合により1人不参加、2人途中帰宅)、マネージャー4人の計20人が参加、磯原郷英高校の4人を加えての合同合宿となりましたが、大きな怪我もなく、無事に合宿を終えることができました。

保護者の皆様からは、たくさんの差し入れをいただいたそうです。ありがとうございました。

なお、OB会からは、黒沢会長、益子副会長、尾又顧問の3人が、激励のため2日間参加しました。

【練習・試合結果】※試合は原則20分×3本 試合結果(スコア)等は人手不足もあり、一部不詳です。

2日(火) 移動日につき、到着後に練習のみ

3日(水) 午前:各務原高校(岐阜) ○41-5

午後:石神井高校(東京) ×5-31

4日(木) 午前:安中総合高校(群馬)+茨城県西 合同

午後:府立茨木高校(大阪)

関西大倉高校(大阪) 試合途中、雨のため一時中断

5日(金) 午前:練習のみ

午後:千葉南高校(千葉)

夜:審査員特別賞、頑張ったで賞、FWベストワン、BKベストワン、

合宿MVP(5部門)の表彰式

6日(土):午前:日大藤沢高校(神奈川)

魚津工業高校(富山)



○ 令和4年度も「学年幹事会」を開催できず

例年は、7月上旬にOB会の学年幹事会(総会に代わる審議・議決機関)を開催しています。

昨年・一昨年はコロナ禍により開催できなかったため、3年ぶりの開催日を7月23日(土)に設定し、準備を進めていましたが、折悪しく新型コロナ・オミクロン株の第7波が顕著となったため、開催通知を出す直前になって急

遽開催を断念。代替えとして役員各位にSNSで議案書を配布し、案件の内容を確認していただきました。

案件は、令和3年度の事業報告と決算報告、令和4年度の事業計画（案）と予算（案）、さらに役員任期（2年）満了に伴う改選です。昨年度、若手OBの参加促進等を図るため、新たに若手OB2人を幹事として追加選任したこともあり、役員は全員留任としました。

昨年度・一昨年度と同様に、OBの集まる行事をほとんど持てなかったことから年会費収入が激減。ただし行事に掛かる経費の支出が押さえられたこともあり、内部留保資金の目減りは回避することができました。

一日も早く、コロナ禍が収束し、以前のように蹴り初め・試合応援・夏合宿での激励などによるOB相互の交流や現役部員との交流の場が設けられることを、願ってやみません。

1. 令和3年度活動及び決算報告

(単位：千円)

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	0	0	0	中止（代替でオンライン役員会開催）
2) OB会報発行	170	171	+1	10月に第24号を発行
3) 各大会への資金援助	195	205	+10	全国予選（プログラム協賛金を含む） 関東大会本大会ほか
4) 菅平遠征への資金援助	0	0	0	夏合宿の中止が決定していたため
5) 菅平へのOB派遣補助	0	0	0	〃
6) 全国予選激励会相当補助	50	30	-20	テーブルマット一式寄贈等
7) ゴルフコンペの開催	10	2	-8	開催通知発送
8) 蹴り初め等の交流親睦行事	70	0	-70	コロナ禍のためすべて中止
9) 慶弔費	10	0	-10	1件あり（R4予算から支出）
10) 事務費	50	13	-37	郵送・コピー代、振込手数料等
11) 高校生活活動費支援	150	100	-50	
12) 附属中活動費支援	150	119	-31	10万円+練習用ジャージ3着
13) 応援・勧誘グッズ等作成	50	0	-50	無観客開催のため
14) その他	20	0	-20	
計	925	640	-285	

2. 令和3年度 主な収入の状況

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和3年度予算	715,000	120人	210,000	14件	925,000
〃 決算	399,500	76人	214,000	14件	(65.5%) 613,500

※上記のほか、父母会から次期周年事業協力金として24千円を受領

※ 〃 関東大会出場緊急カンパにより128千円が納入

※蹴り初めや学年幹事会等が未開催のため年会費納入額が減少

※令和3年度も、正月の蹴り初めや夏の学年幹事会などOB会行事が開催できなかったことから、年会費をいただく機会が少なく、年会費収入が対前年比「-13%」となっています。（対前々年度比は「-46%」）OB会の運営健全化と現役部員への継続的な支援を図るため、年会費の積極的な納入にご協力ください。

振込先：常陽銀行 日立支店 普通預金 No.6827091

口座名：日立一高ラグビー部OB会 会長 黒沢祐士

3. 令和4年度 事業計画及び予算 (案)

(単位：千円)

	R 3 決算	R 4 予算	内 容
1) 学年幹事会	0	0	中止が決定のため
2) OB会報発行	171	171	10月に第25号を発行予定
3) 各大会への資金援助	205	195	30,000×6大会+プログラム協賛金
4) 夏合宿への資金援助	0	50	
5) 夏合宿へのOB派遣等補助	0	30	
6) 全国予選激励会相当の補助	30	30	R2、R3はテレビングテープ一式を寄贈
7) ゴルフコンペの開催	2	4	開催通知等
8) 蹴初め等の交流親睦行事	0	30	蹴初め、新年会等
9) 慶弔費	0	20	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	13	10	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 高校生活動費支援	100	150	活動費等補助
12) 附属中活動費支援	119	150	〃
13) 予備費	0	20	
計	640	860	前年度決算比 +220千円

4. 令和4年度 収入見込

(単位：円)

	年会費 (納入者)		広告料 (納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和元年度決算	746,000	127人	216,000	13件	962,000
令和2年度決算	457,000	85人	208,000	14件	665,000
令和3年度決算	399,500	76人	214,000	14件	613,500
令和4年度予算	646,000	100人	214,000	14件	860,000 (前年度決算比 140%)

5. 役員改選 任期：令和4年度～令和5年度 (※全員留任)






役職	氏名	卒年度	役職	氏名	卒年度
会長	黒沢 祐士	昭和50年度	幹事	尾又 彰彦	平成2年度
副会長	山本 宏	昭和51年度	幹事	助川 覚	平成5年度
副会長	益子 俊志	昭和53年度	幹事	原 正紀	平成6年度
副会長	柴田 和則	昭和57年度	幹事	鈴木 祐輔	平成7年度
幹事長	木下俊雄	昭和54年度	幹事	加藤 順大	平成8年度
幹事	鶴巻 仁	昭和57年度	幹事	樋本 吉和	平成8年度
幹事	黒澤 次郎	昭和58年度	幹事	吉田 昭洋	平成20年度
幹事	笠井 知洋	昭和59年度	幹事	小川 浩慶	平成28年度
幹事	平澤 慎二	昭和59年度	監事	橋 恒弘	昭和62年度
幹事	高橋 晃太郎	昭和61年度	監事	長谷川 将大	平成20年度
幹事	本田 浩一	平成2年度	事務局長	金澤 勉	平成4年度

○ 高校・中学の指導者紹介

日頃、現役員たちが大変お世話になっている高校・中学の指導者の皆さんをご紹介します。

指導者の皆さん、今後ともよろしくお願ひいたします。

(敬称略)

	役職・氏名 (年齢)	高校時代のポジション (部活動等)	ひとこと
	高校ラグビー部 部長 てるめま よしひこ 照沼 芳彦 (54)	スクラムハーフ	ラグビーも勉強もしっかり主体的に探究する能力を育成する。
	高校ラグビー部 監督 やすき やすゆき 鈴木 康之 (45)	スクラムハーフ	1人でも多く新入部員を。
	高校ラグビー部 顧問 たかしま しんすけ 高島 真輔 (30)	フッカー (BKから転向)	選手とともにラグビーを楽しむ。
	中学ラグビー部 顧問 おおくぼ ひろのり 大久保 博紀 (46)	吹奏楽部に所属 (アルトサクソ) 教員になってからは、バスケットボール部顧問など	中学ラグビー部顧問3年目になりました。OB会のみなさんには、休日練習で部員と一緒に活動していただき、ありがとうございます。今後とも、よろしくお願ひいたします。
	中学ラグビー部 部活動指導員 おまた あきひこ 尾又 彰彦 (49)	スタンドオフ	日立一高ラグビー部の伝統を繋いでいく為、OBの皆さんと協力して活動していきたいです。

○ 附属中ラグビー部の活動状況

今年度は、3年生4名、2年生3名、1年生3名、計10名で活動が始まりました。また、今年度は太田一高附属中学校、東洋大学附属牛久中学校の3校で合同チームを組み、大会や交流試合に参加しています。

- 【令和3年度】5月・・・千葉・茨城県中学校ラグビーフットボール春季大会 兼
第71回関東中学校ラグビーフットボール大会千葉・茨城予選
7月・・・茨城県内チームとの交流試合
その他・・・太田一高附属中、水戸日立ラグビースクールと合同練習
茨城県内チームとの交流試合 など

- 【令和4年度】4月・・・太田一高附属中と合同練習
5月・・・千葉・茨城県中学校ラグビー春季大会兼関東中学校ラグビー大会千葉・茨城予選
6月・・・太田一高附属中と合同練習
7月・・・全国ジュニアラグビー大会 茨城県強化練習会

(大久保 博紀)

○ OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。

今回は、昨年4月に地元に戻ってきたばかりの吉田昭洋さん、小川浩慶さんという、フレッシュなお二人にお願いしました。お二人とも、お忙しい中を寄稿していただきありがとうございます。

「後悔とこれからのために」 吉田 昭洋 平成20年度・第61回卒

私は約1年前、昨今のコロナ影響とこれからのことを考えて地元の北茨城市に戻り、参加できるときは微力ながら、中学（高校）の練習のお手伝い（本当は、自分の運動不足解消目的？）をさせていただいています。

高校入学当初、私はラグビー部には所属しておらず、同期で同郷の友人達からの誘いで12月に遅れて入部となりました。このタイミングでの入部は、新人戦が控えており、部員も少なかったことから入部して2週間で何もわからないままに試合に出たことを覚えています。

2年になり橋本先生の体制に代わってからは、OBの先輩方に協力してもらい厳しい練習で毎日へとへとになりながら充実した日々を送らせていただきました。私たちは、結局私立の壁を破れず4強の2校に惜敗する結果となりましたが、今思い返しても「あの時、ああしていれば・・・、こうしていれば・・・」とまだやれることがあったのではないかと悔いが残る部分があります。

そんなこともあり高校卒業後、大学ではラグビー部の極まれに現れる助っ人として活動し、以前の勤務先がある神奈川県では日産スタジアムに近いこともあり、日本代表のテストマッチを見に行ったり細々とラグビーには関わってきました。

地元に戻った現在は、中学（高校）の練習に参加したり、まれに社会人のチームの試合に参加したり個人的な「ラグビー熱」が再燃してきています。以前とあるOBが言っていたのですが、「ラグビーは麻薬みたいなもので、一度触れたら一生離れられない」という言葉が胸に深く残っています。この言葉は、現在の私の状況と重なる部分があるなどと思っており、非常に楽しい日々を送らせていただいています。

最後になりますが、私から特に20、30代の若手OBにお願いがあります。体が鈍ってしまっているでもいい、参加しづらくたって気楽にでいい、日頃のストレスの解消だっていい、無理のない範囲でいいので、当時私たちがそうしてもらったように練習にご協力いただけないでしょうか。私たちの経験してきたことは、次の世代にもすぐく参考になることだと思います。「久しぶりにタッチフットやってやるか！」ぐらいのつもりでグラウンドにお越しください。先生方、生徒達、役員含め、グラウンドで多くのOBの参加をお待ちしております。



【「助っ人」参加の試合にて（一番左が吉田さん）】

「思い出」 小川 浩慶 平成28年度・第69回卒

今回はこのような機会をいただきありがとうございます。この機会に自分の思い出等について、少しお話させていただきたいと思います。

高校生の頃、自分には憧れていた選手がいました。ある時、その選手が所属する大学の試合を観に行ける機会があり、人生で初めて秩父宮ラグビー場を訪れました。

試合はその選手が活躍し、応援していたチームが勝利しました。もちろん憧れの選手が活躍したことも嬉しかったですが、観客が多くいるこんな大舞台で試合ができればどれだけ楽しいのだろうと考えていました。

それ以来、叶うことなら秩父宮の様な素晴らしいグラウンドで、多くの観客の前で、自分もラグビーがしてみたいなあ…という思いが自分の中にあり、いつかそんなことがあれば…とっていました。



【関東大学オールスターゲーム】

自分は順天堂大学という大学に入学しました。明治や帝京といった強豪校ではないものの、好きなことは大学でも続けたいと、ラグビーは続けていました。

強豪ではないため、観客は少ないものの、人口芝のグラウンドや大きなトレーニング等、良い環境の中でラグビーができることに満足してはいました。大学2年生の頃、その機会は訪れ、関東大学オールスターゲームに選手として、秩父宮ラグビー場で試合ができる機会を得ました。

関東大学オールスターゲームとは、対抗戦A・B、リーグ戦グループ1部～6部の各大学の中で、選出された選手が各部の代表として試合を行うお祭りの様なもので、自分は5部の代表として、6部リーグのチームと7人制の試合を行いました。

内容は、かなり拮抗した試合で、自分が2トライをあげ、19-17で勝利することができました。試合の時の歓声、試合後のグラウンド内からの景色、関東大学オールスターゲームという大舞台で試合ができたことは自分の人生で最も大きな思い出の1つであり、高校の時に願っていたことを大学で叶えることができたことはとても嬉しいことです。

大学でラグビーを続けるなら有名な所に行かなければとか、ラグビーは高校までかな…という風に考える人もいるかとは思いますが、強豪校でないところでも、こういう大きな舞台を初め、いろんな楽しみ方があるので、後輩達には1人でも多く、大学でラグビーを続けてもらえると嬉しいなと思います。

○ 父母の会だより 父母の会会長 カナザワシールズ 雅美 さん (カザワシールズ^{せあん} 世晏くん (3年) の母)

日頃より、先生方を始め日立一高ラグビー部のOBの皆様には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

依然続くコロナ禍で保護者同士が会する事もままならず、グループライン上での自己紹介が顔合わせ代わりというスタートでした。

それでもコロナ禍も3年目となり、原則無観客ではあるものの、選手の家族と学校関係者は観戦を許され、新人戦、関東大会、7人制と応援することができました。また、夏には3年ぶりに菅平での合宿も行われ、少しずつではありますが、元に戻ってきたのではないのでしょうか。選手たちは試合、大会があればこそ目的を持って練習できるし、私たち親は一生懸命頑張っている姿を見られればこそ、勉強よりラグビーの比重が重くなってしまうことにも、そして、汗と泥にまみれた洗濯物にも、寛容になれます。



【父母会の皆さんと (中央が カザワシールズ^{せあん} さん、左が藤田さん、右が津下さん)】

別のスポーツを熱心にやっていた息子に、高校でラグビー部に入ると言われた時は驚きましたが、仲間と共に必死にボールを追い、また、グラウンドの外では楽しそうに話している姿を見ると、何とも誇らしく思います。願わくば、卒業した後もOBとして仲間を誘って母校に足を運び、これまでOBの方々がして下さった事への恩返しをしてくれたらと思います。

もう間もなく3年生最後の大会が始まります。OB、保護者一丸となって応援出来る事を祈るばかりです。OB会の皆様、これからもご指導ご協力のほどよろしくお願い致します。

○ 社会人 (トッツイーストリーグ) で活躍しているOBたち

本年9月11日(日)ひたちなか市総合運動公園で開催された、トッブリーグイーストの公式戦「日立SunNexus茨城 vs. 富士フィルム ビジネスイノベーション グリーン エルクス」における、富士フィルムの先発メンバーには、平成28年度・第69回卒の篠田昌寿さん(L04番)の雄姿がありました。一方でスタンドに目を転じると、そこには昨年の会報第24号OB通信で紹介した木田翔汰さん(平成21年度・第62回卒)の姿が...

篠田さんは、日立一高を卒業した後、明大ラグビー部で活躍し、昨年春に富士フィルムに入社、秋シーズンからメンバー入りし、現在同チームの主力選手として活躍しています。



【篠田昌寿さん】



一方、木田さんは、日立一高を卒業後、㈱日立製作所に入社、社業とラグビーを両立させながら努力を重ね、高校時代より20kg以上増量して日立SunNexusのスクラムを支え続けました。平成25～26年度は早稲田大学に社会人留学、近年は右膝半月板断裂により休養を余儀なくされたこともありましたが、昨年秋シーズンには見事に復帰し、日立市民運動公園での日立SunNexusの公式戦2試合にPR1番で先発、勝利に大きく貢献しました。

木田さんは、社業専念のため惜しまれながら昨シーズンで現役引退しましたが、篠田選手は社会人としてスタートを切ったばかり、高校時代からの持ち前の突進力・展開力に加え、

【木田翔汰さん】 近年は低く突き刺さるタックルも武器にしており、今後益々の活躍が期待されます。木田さん、長年の第一線での活躍お疲れ様でした。篠田さん、これからも応援しています。Hip Hip Hooray !!

○ 第18回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第18回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

1. 日 時 11月26日(土) 午前8時40分集合
9時10分INスタート
2. 場 所 茨城パシフィックカントリー倶楽部
北茨城市関南町神岡上小沢1113
TEL: 0293-46-4111
※去年までと会場が違いますので、ご注意ください。
3. 費 用 プレイ費9,800円+商品代1,000円



【昨年のゴルフコンペにて】

【ゴルフコンペ幹事：笠井知洋 Tel:080-5057-3065】

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。(※入場制限あり、ご注意ください。)

令和3年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。(※今大会は「第4シード」です。) 詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブックをご覧ください。

※1回戦から準決勝までは学校関係者及び選手家族のみ観戦可。決勝は健康チェックの上、一般も観戦可

第1戦(準々決勝)	10月23日(日) 13:00	v s	(常総学院×牛久) × 東洋大牛久の勝者	堀原運動公園
第2戦(準決勝)	10月30日(日) 11:00	v s	(合同B×勝田) × 茗溪学園の勝者	〃
第3戦(決勝)	11月20日(日) 13:00	v s	清真学園・勝田工業等のブロックの勝者	ケーズデンキスタジアム

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化を図るため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(次頁をご参照ください。)

広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は12人(13件)のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計206,000円のご協力をいただくことができました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。

日立一高ラグビー部OB会報 第25号 (令和4年10月1日発行)

発行責任者：幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

愛犬と楽しむキャンプ場

Out Tail Dog Camp

松崎 暢之 (昭和63年度 第41回卒)

〒294-0004 千葉県館山市水岡263番地

<https://dogcamp.jp>

株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号

電話: 03-6277-5309

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話: 0294-22-0807

株式会社 トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西碎石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話: 0294-33-0359

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店

橋 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話: 0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表社員弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOHビル2階

電話: 0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 カザワール 雅美 ほか保護者一同

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか役員一同

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています!

(事業所名はアイウエオ順)